

# 3次元調整丁番(2枚吊) 取扱説明書

※本図は、右吊り元用を示す。左吊り元用については、左右対称とする。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。  
※調整前に建て付けがどのような状況か確認してください。

### 吊り込み方法

※扉を吊り込む前に、上用芯棒を引き上げておきます。引き上げる場合は、当て木をして、ハンマー等で軽く打ち上げてください。

- ① 差し込む
- ② 押し込む

① 下側の丁番を先に枠側丁番の管に差し込む。  
② 上用芯棒を上げた状態で上用丁番を枠側丁番に引き寄せ、枠側丁番の管に位置を合わせてピンを押し込みます。(ピンの押し込みが硬い時は軽くたたいてください)

※扉を外す場合は、上用枠側丁番の管部の下から、ドライバーを差し込み、上用芯棒を下から押し上げ、芯棒を抜きます。(この時、芯棒は抜けきってしまいますのでご注意ください。…吊り込み易くする為)

### 調整方法

※上用丁番はルーズピンタイプ、(上下調整ねじなし)

❗ 注意 ※電動ドライバーは、使用しないでください。調整ねじが破損する恐れがあります。

#### 前後調整方向

戸先側上部のはみ出し 戸先側下部のはみ出し

#### 上下調整方向

扉上部が上枠にこすれる 扉下部が床にこすれる

#### 左右調整方向

戸先側の隙間が大きい 枠が変形し扉が閉らない

#### 前後調整方法

※扉上部がはみ出す場合は、上用丁番 扉下部がはみ出す場合は、下用丁番にて調整を行ってください。

- ① 固定ねじを緩める
- ② 前後調整ねじを回す。寄せたい方向になるまで、回してください。  
※前後調整ねじは、エンドレスに回転します。戸当たり側に移動(2mm) 持ち出し側に移動(2mm)
- ③ 調整後、固定ねじを締め付ける。

※調整後は、必ず固定ねじを締め付けてください。扉が脱落する可能性があります。

#### 上下調整方法

※下用丁番にて調整を行ってください。

上下調整ねじを回す。  
右に回す ……上に移動(2mm)  
左に回す ……下に移動(2mm)

※扉が重すぎると持ち上がらず、ビットが潰れる恐れがあります。ネジが回らない時は、扉を持ち上げて調整するようにしてください。

#### 左右調整方法

※戸先側の隙間が大きい場合は、上・下用丁番 扉が閉まらない場合は、まず、上用丁番にて調整を行ってください。

- ① 固定ねじを緩める。
- ② 左右調整ねじを回す。  
右に回す ……戸先側に移動(1.5mm)  
左に回す ……吊元側に移動(2mm)
- ③ 調整後、固定ねじを締め付ける。

※調整後は、必ず固定ねじを締め付けてください。扉が脱落する可能性があります。

# 3次元調整丁番(3枚吊) 取扱説明書

※本図は、右吊り元用を示す。左吊り元用については、左右対称とする。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。  
※調整前に建て付けがどのような状況か確認してください。

### 吊り込み方法

※扉を吊り込む前に、上用芯棒を引き上げておきます。引き上げる場合は、当て木をして、ハンマー等で軽く打ち上げてください。

- ① 差し込む
- ② 押し込む
- ③ 押し込む

① 下側の丁番を先に枠側丁番の管に差し込む。  
② 上用芯棒を上げた状態で上用丁番を枠側丁番に引き寄せ、枠側丁番の管に位置を合わせてピンを押し込みます。(ピンの押し込みが硬い時は軽くたたいてください)

③ ピンを押し込みます。(ピンの押し込みが硬い時は軽くたたいてください)

※扉を外す場合は、上用枠側丁番の管部の下から、ドライバーを差し込み、上用芯棒を下から押し上げ、芯棒を抜きます。(この時、芯棒は抜けきってしまいますのでご注意ください。…吊り込み易くする為)

### 調整方法

※上用丁番はルーズピンタイプ、(上下調整ねじなし)

❗ 注意 ※電動ドライバーは、使用しないでください。調整ねじが破損する恐れがあります。

#### 前後調整方向

戸先側上部のはみ出し 戸先側下部のはみ出し

#### 上下調整方向

扉上部が上枠にこすれる 扉下部が床にこすれる

#### 左右調整方向

戸先側の隙間が大きい 枠が変形し扉が閉らない

#### 前後調整方法

※扉上部がはみ出す場合は、上用丁番 扉下部がはみ出す場合は、下用丁番にて調整を行ってください。

- ① 固定ねじを緩める
- ② 前後調整ねじを回す。寄せたい方向になるまで、回してください。  
※前後調整ねじは、エンドレスに回転します。戸当たり側に移動(2mm) 持ち出し側に移動(2mm)
- ③ 調整後、固定ねじを締め付ける。

※調整後は、必ず固定ねじを締め付けてください。扉が脱落する可能性があります。

#### 上下調整方法

※下用丁番にて調整を行ってください。

上下調整ねじを回す。  
右に回す ……上に移動(2mm)  
左に回す ……下に移動(2mm)

※扉が重すぎると持ち上がらず、ビットが潰れる恐れがあります。ネジが回らない時は、扉を持ち上げて調整するようにしてください。

#### 左右調整方法

※戸先側の隙間が大きい場合は、上・下用丁番 扉が閉まらない場合は、まず、上用丁番にて調整を行ってください。

- ① 固定ねじを緩める。
- ② 左右調整ねじを回す。  
右に回す ……戸先側に移動(1.5mm)  
左に回す ……吊元側に移動(2mm)
- ③ 調整後、固定ねじを締め付ける。

※調整後は、必ず固定ねじを締め付けてください。扉が脱落する可能性があります。

# 3次元調整丁番 取扱説明書

※本図は、右吊り元用を示す。左吊り元用については、左右対称とする。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

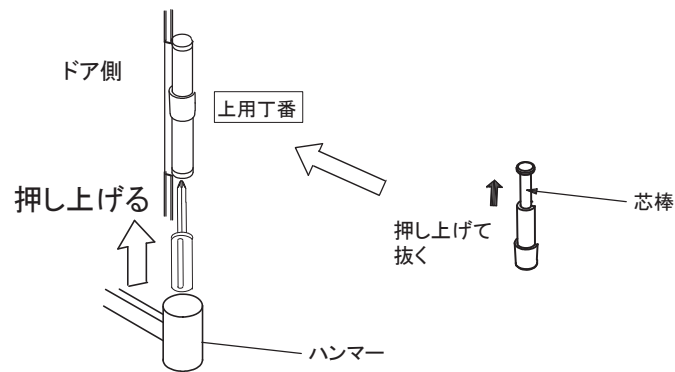
※調整前に建て付けがどのような状況か確認してください。

## 取り外し方法

※扉を外す場合は、

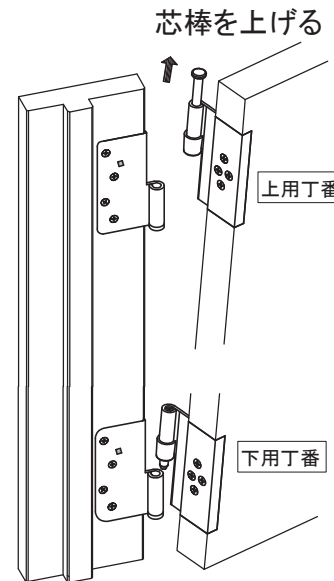
上用枠側丁番の管部の下から、ドライバーを差し込み、  
上用芯棒を下から押し上げ、芯棒を抜きます。

(この時、芯棒は抜けきってしまいますので  
ご注意ください。…吊り込み易くする為)



※上用丁番の芯棒を上げて  
建具本体を持ち上げて下さい。

### 2枚吊



### 3枚吊

